

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) ヨコハマイチリツダイガク	フリガナ) コクサイソウゴウカガクブ	フリガナ) フジサキゼミナール
横浜市立大学	国際総合科学部	藤崎ゼミナール

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) フジサキチャンボン	フリガナ) ウオズミアオバ	4	無	
藤崎ちゃんぼん	魚住碧波			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

調査時に使用したアンケート

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

保育ママという選択肢

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちは、待機児童問題の解決策の提示を目的に研究を行いました。その中で「保育ママ制度」という、現在ではフランスが大々的に取り入れており、日本では江戸川区や横浜が取り入れている保育士免許を持つ者が自宅で子供を預かって保育することができる制度を知りました。私たちは研究の中で、少子高齢化が進み、女性労働力が必要になった結果、待機児童が顕在化した日本では「保育ママ制度」がいいのではないか、という考えに至りました。その制度と問題点、そして、その解決策の提示が主な研究発表である。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

待機児童問題は、日本の少子高齢化に伴い、労働力の減少が引き起り、女性の社会進出が促された。児童を保育所に預けて産休から会社に復帰する女性が増え、待機児童という形で顕在化した。そして、フランスでは「保育ママ制度」を長く取り入れており、ベビーシッターなどの文化があることから普及が進み、結果大半が保育ママ制度で賄っているという現状である。しかし、日本では、江戸川区などが早くから取り入れているが普及は行き詰っているように感じた。考えられる原因としては、フランスのようにベ

ピーシッターという文化が普及しておらず、子供を他人に預けるということに対して抵抗感を抱いてしまうのである。そのため、日本ではそもそも保育ママ制度の認知度も低いままなのが現状である。

3. 研究テーマの課題

この課題に取り組む上で、私たちは「保育ママ制度」の普及こそが待機児童を改善する解決策だと考えた。保育ママは、少人数を預かるので、会社復帰する女性の複雑化している要求にも柔軟に対応することができる可能性があるのである。ここで課題となってくるのは、「いかにして保育ママの透明性を証明し、認知度を上げていくか」という点である。前述通り、子供を預けるという習慣のない日本において、どうしても一般家庭の一室で子供を預かる保育ママ制度には、「見えないところで何をしているかわからない」「しっかり保育していないのでは」、という懐疑心はぬぐえない。なので、この懐疑心をいかに晴らすか、そして、いかに認知度を上げていくかがこの研究テーマの課題である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちはしっかりと子供を預ける保育ママを理解してもらうこと、こそが問題解決に必要であると考えた。そこで私たちは「保育ママによる子育て教室の実施」というものを考えた。保育ママを講師として、いかに子育てをするのか、という講演会のようなものを行うことで、その保育ママの子育てに対する考え方のようなものがしっかりと確認することができ、子供の預ける母親は安心して子供を預けることができる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

今回の調査において、私たちアイン金沢文庫保育園様にアンケート行った。アイン金沢文庫の保育士様方には、①「保育ママを知っていますか」という認知度を確認する質問をさせていただき、ほとんどの保育士様が保育ママを知っており、また②で「保育ママは待機児童改善に役立つと思うか」という質問では、アンケートに答えてくださった保育士様全員がそう思うと答えてくださった。③では、「保育ママになりたいと思うか」という質問をさせていただいた。この質問では半分の保育士様がやってみたくて答えてくださいました。このことから、地域で保育ママ制度があることを知らない保育士の方がいることがわかった。逆に、保育園で務めることに特に不満を持っていない保育士様も大勢いるということが分かった。

6. 結果や今後の取り組み

保育ママ、をしっかりと理解してもらうことこそが重要であり、そのためには預け先である保育ママがどんな人であるのか、ということがしっかりと分かるように第三者がサポートする必要があると考える。

7. 参考文献

<https://www.mhlw.go.jp/content/11907000/000356833.pdf>

<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e048/kosodate/kosodate/hoiku/nitijou/mama/shokai.html>

http://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/keizai_prism/backnumber/h26pdf/201413102.pdf

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/opendata/hoiku01.html>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください